

住宅用火災警報器の点検方法について

○住宅用火災警報器の点検方法

住宅用火災警報器本体にボタンまたはひもが付いているのでボタンを押すか、ひもを引くと正常に作動をしている場合は「ピーピーピー」と音が鳴ったり、「正常です」といった音声がかかります。故障や電池切れの場合は、音が鳴らなかったり、消えてしまいそうな音が鳴る場合は交換の時期かもしれません。

☆現在、一般社団法人 日本火災報知器工業会から住宅用火災警報器の交換診断シートといったものが出ており、自宅の住宅用火災警報器が交換が必要かどうか簡単に分かるサイトがあります。「とりカエル ブザー音」で調べればパソコンやスマホから確認をすることができます。

住宅用火災警報器の点検・交換

- 点検は定期的に**
本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)
- 交換の目安は10年**
設置から10年以上の場合も**交換**しましょう！
設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。
- 新しく交換する際は、生活に適した機器を！**
火災などの危険に対して、より安心できるさまざまな機能を兼ね備えた機器の設置を検討しましょう。



